

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年4月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691600052
法人名	社会福祉法 博寿会
事業所名	グループホーム 高松みどりの里
所在地	鹿児島県曾於市末吉町諏訪方6875番地 (電話) 0986 - 76 - 7828
自己評価作成日	平成28年2月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年3月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は自然に恵まれ、家族の面会も多く、また、地域住民の方々
がグランドゴルフの場として活用されるなど、人の出入りの多いところ
であります。今後はさらに地域交流を活発にすることで地域に根差し、
利用者様が地域で暮らしていること、地域の一員である事業所になる
ように努力していきたいと思っております。

同敷地内には地域密着型の特別養護老人ホームが隣接、小規模多機能
ホームが併設されており、環境の変化があまりなく在宅から入所サー
ビスに移行でき、スムーズに入所できているケースが多い。また、小規模
多機能ホーム利用者様との面会・交流の機会も多く、入所ゆえの閉塞感
がなく過ごせるホームである。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、畑に囲まれた自然豊かな地区に立地し、小規模多機能
ホームが併設されて、利用者の自由な行き来や交流、職員の協力体制
等、一体的な運営がなされている。隣接して同法人の地域密着型特別養
護老人ホームがあり、利用者の状況に応じ法人内の連携・協力で適切
な事業所の選択を支援し、本人・家族等の安心に繋がっている。
- ・協力医療機関による往診と緊急時の対応及び、併設事業所の看護師に
よる健康管理等、健康・医療面における支援体制が整っている。
- ・当ホームの開設前に地域で組織された協力隊は、運営推進会議との合
同会議や緊急連絡網への登録等、ホームの運営に協力してもらって
いる。
- ・居室には、感染症対策及びプライバシー確保のためにトイレが設置
されており、トイレでの排泄の自立に向けた支援に取り組みやすい環境
である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人共通の『理念』『職員訓』及び『職員の誓い』を掲げている。また職員一同で法人理念に沿った『高松みどりの里の思い』を作成し、毎年見直し、再確認行っている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた法人理念と、ホームの職員が作成した「職員の誓い」と「職員訓」がある。朝礼やミーティングで唱和し、年1回振り返り見直しを行い実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣住民の方々に協力員となって頂き、定期的に説明会を行っている。また周辺集落の方に庭を開放し、毎週グランドゴルフに活用されている。毎年の夏祭りにも地域の皆様に参加していただいている。 学生の職場体験やボランティアも受け入れている。	事業所敷地を地域へ開放したり、事業所の夏祭りに多数の住民参加がある等、地域との交流を積極的に行っている。小・中学生の職場体験や高校生の実習・ボランティア等の受け入れも行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	利用希望者だけでなく、地域の方々の症状の相談や制度・施設の説明に努めている。 また、地域住民からなる協力員や近隣協力隊に、会議や訓練を通して介護技術や認知症の説明をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的を開催し、地域住民代表、家族代表、行政の職員等に出席いただいている。</p> <p>利用状況の説明や意見要望を聞いている。</p> <p>職員へは議事録の閲覧や申し送りノートの活用にて伝達している。</p>	<p>会議は定期的を開催している。</p> <p>ホームの事業報告や利用者の状況報告を行い意見交換を実施している。年2回は協力員会と合同で開催し、住民の理解を深めてもらう機会となっている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議への参加、2カ月おきの連絡会への参加や窓口での随時相談を行っている。</p>	<p>市の担当者とは窓口に出向いて相談したり電話やメールで、日頃から連携を取っている。運営推進会議に参加してもらい意見等を交換したり、市の要請で議員や地域包括支援センター職員の見学・実習を受け入れたり、公民館講座の講師を務めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の勉強会を開催し、職員への周知徹底を行っている。</p> <p>玄関等の施錠等は理解が浸透しきれないが、スピーチロックに関して取り上げ、取り組んでいる。</p>	<p>職員が身体拘束を正しく理解するために勉強会を実施している。スピーチロックについて職員の自覚を促したり、薬物の減量についても取り組んでいる。</p> <p>日中玄関の施錠はせずに、外に出る利用者には付き添って散歩する等で対応し、職員の見回りや連携で自由な生活を継続できるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止の勉強会を開催、メディアの情報を含め資料配布を行い注意喚起を行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護に関する勉強会を開催、資料配布を行い注意喚起を行っている。 外部研修にも参加している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約・解約の際は、重要事項等の書類を含めた説明と、質問に答え理解を得られるように心掛けている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>本人様との会話や、家族とは送迎時や電話連絡にて行っており、また苑だよりを個々で作成して情報交換している。 また、職員でも担当制を設けており、本人様・家族が話しやすいようにしている。</p>	<p>利用者とは日常の会話や表情から思いを把握している。家族とは面会時や送迎時、電話やメールで意見を聞いている。利用者に職員の担当を決めて、一人ひとりに合わせ毎月の便りを作成し写真や状況をお知らせし、反応や意見・要望を聞き運営に活かしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定期的に職員会議の開催や日頃からの関わりで、職員の意見を取り入れるように努力している。</p> <p>必要に応じて個別での話し合いもして、職員の意見が出やすくなるように努めている。</p>	<p>日常的に申し送りの時、意見や提案を聞いている。毎月のミーティングに管理者は参加せず、職員が意見を出せるように配慮して、出された意見は勉強会で報告している。個人面談やメンタルケアも行っている。職員の意見を活かして、入浴介助を併設事業所職員と協力して行う等、業務の負担軽減と円滑化を図っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務状況や有資格を考慮した雇用形態のとりよりにしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者とともに研修方法や機会の確保に努めている。</p> <p>外部研修の機会の確保や、案内の紹介を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修案内等の文書類は回覧し情報提供している。</p> <p>職員の経験や知識に応じて研修参加の機会を提供し、市主催の同業者対象のスキルアップ研修会への参加もしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設の見学や自宅等の訪問を行い、事業所に対する理解をして頂けるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設の見学や自宅等の訪問を行い、事業所に対する理解をして頂けるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に、当事業所の利用に限らず、その方の状況に応じて介護サービスの説明や他事業所の案内も含めて行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	理念に沿った目標『高松みどりの里の想い』を職員であげ、食事やお茶を一緒に行うことで、一緒に生活している『共同生活者』となるように努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様へも、協力の必要性を説明し、ご協力いただいている。面会も多くみられ、必要時は受診への付き添いもある。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	『想いの日』と称した職員体制を作り、お墓参りや周辺地域へのドライブなど行っている。利用者様の個人台帳に、自宅周辺地図をつづり、地域性の理解を図るようにしている。	これまでの生活や関係を継続できるように、個人台帳に住んでいた周辺地図から馴染みの関係を把握している。年賀状作成や電話の取り次ぎを支援し、馴染みの関係が途切れないように支援している。家族と協力して馴染みの理美容室の利用や自宅訪問・墓参り等に同行している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の性格も考慮した上での座席や役割などの生活環境を考えている。また、その時々利用者様の関係を、申し送り等にて職員で配慮し、その時でも対応している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約の終了後も、連絡をとったり担当の方と連絡を取っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意向を確認した上でのプラン立案や、日常の介護に努めている。 職員は出勤時に、全利用者に挨拶することとし、信頼関係の構築に努めている。	朝の挨拶時やケアの中で利用者から話を聞く時間を設け、一人ひとりの意向の把握に努めている。その日の意向を把握して、おやつ作りやタケノコ堀りに行くこともある。会話等が困難な場合は、家族・知人からの情報を参考に本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時のアセスメントだけに限らず、会話や家族からの情報収集で、把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	以前の生活状況を踏まえ、日々の生活状態を観察し、個々の生活リズムで過ごせるように努力している。 ライフサポート一覧を活用し、生活の個別性ができるように心がけている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の意向確認を行い、ミーティングにて評価・検討を行っている。	本人・家族の要望を把握した上で職員参加の担当者会議を実施し、主治医の意見も参考にして介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月に1回実施し、6ヶ月毎または状況変化時に計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別に記録を記載し、その他に申し送り簿や日誌を作成し、情報の共有や評価につなげられるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>その時の状況に応じて、個別の外出や計画以外のケアなど、できるだけ対応できるように心掛けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ボランティアの参加や、家族以外の友人や知人の面会があるなど、地域に根付いた家になるように努力している。 図書館や道の駅など近い施設を活用している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関はあるが、入所前の主治医を継続するなど、希望や経緯を踏まえて支援している。 受診後も電話や個別の苑便りで報告している。</p>	<p>本人・家族の希望するかかりつけ医及び専門医への受診をホームで支援している。毎月1回の協力医療機関の往診があり、緊急時等の協力体制を築いている他、併設事業所の看護師による健康管理を日常的に行って、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、口頭でのやり取りの中で得た情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>定期受診・往診以外にも必要に応じ連絡を取り合っている。また、併設事業所の看護師との連携も行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時の面会や、家族の相談などに努めている。病院関係者とも、現状の確認や今後の方針について連絡を取り合っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>一定の基準を設けており、利用開始時や必要時に説明を行っている。</p> <p>また、今後の起こりうる可能性を相談し、必要な手続きなど検討している。</p>	<p>契約時に指針に基づいて説明し、同意書をもらっている。重度化等の場合は、管理者が家族へ主治医からの説明を受け、家族の意向を確認している。他施設への申込などを含め、家族の意向に沿って事業所でできる限りの支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>勉強会の開催や資料配布、研修の参加などにて、知識・技術の向上に努めている。消防署の救命士による研修の機会をとっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な消防訓練の開催や、近隣住民の方々に協力隊になって頂いている。近隣協力隊の連絡網も作成している。</p>	<p>年1回消防署立ち会いの避難訓練を夜間想定で実施し、自主訓練も年1回昼間想定で実施している。訓練は併設の小規模多機能ホームと合同で実施し、地域住民で結成された「近隣協力隊」の参加がある。災害時の米やインスタント食品・毛布・カセットコンロ・おむつ・ポータブルトイレ等が備蓄されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>ミーティング等にて、人格を尊重した対応を行うように啓発している。</p> <p>『基本ケア』のマニュアルを作成、認知症・権利擁護の勉強会を開催し、新職員への指導に活用し、1年おきに全職員で見直し、徹底するようにしている。</p>	<p>人格の尊重とプライバシーの確保について勉強会を行い、日常のケアで、さん付けの呼びかけやさり気ないトイレ誘導、利用者のペースで行う食事介助等、配慮して取り組んでいる。トイレは各居室にあり、誘導するときはさりげない言葉や手の差し伸べ方に配慮している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>食事や飲み物など、本人様の嗜好・意向をくめるように、選択できる場を提供しており、できるだけ自己決定できるようにしている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入浴や食事の時間など、自宅での状況やその時の様子で実施している。本人様の意向や自宅での様子、家族と要望の考慮した生活をしていただけるようにしている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>一緒に準備したり、入浴などその都度利用者様が洋服を選択している。</p> <p>利用者様、個々の化粧水等も持参いただき使用していただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>メニューを利用者と一緒に考えたり、味見を利用者様にさせていただき、調理でも皮むきや調理レクなど可能な作業を行える機会をできるだけ持つようにしている。その日の利用者の意見でメニュー変更することもある。</p>	<p>献立は利用者の希望を聞きながら作成し、利用者の個々の力に応じて、職員と一緒に下ごしらえから片付けまで行っている。近隣から頂いた旬の野菜を使ったり、利用者とともに保存食を作ったり、弁当を持って花見やバーベキュー等を楽しんでいる。希望で寿司屋等の外食の楽しみも採り入れている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>病気や嗜好をできるだけ考慮して、必要な食事・水分量が摂れるように努力している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後口腔ケアを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表を活用し、担当職員や排せつ委員が中心となり、オムツの必要性も含め評価・検討している。 オムツ料金の表示による職員への意識やオムツの見直しを行い、費用負担の軽減にも配慮している。	排泄チェック表を利用し、布パンツ・リハビリパンツ・尿取りパット等を個々の状況や排泄量に応じて検討しながら使用している。リハビリパンツから布パンツになった利用者の事例がある。夜間はポータブルトイレを使用する利用者もあり、本人の心身の負担にならないよう配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表を活用し、担当職員や排せつ委員が中心となり、オムツの必要性も含め評価・検討している。 また、錠急に応じて医師や看護師へ報告・相談し対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的な予定は組んでいるが、健康状態や気分、自宅での状況を考慮して行っている。 好みにより入浴剤の使用や、近隣住民から頂いた果実を入れたお風呂なども行っている。	入浴は週3回を基本に午前中に実施している。希望や保清等の必要があれば、毎日でも、午後も可能であり、同性介助の支援も行っている。嫌がる場合は無理強いせず、職員を替えたりタイミングを見て声かけしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入眠時間もまちまちで個人のリズムやその時の状態で過ごしていただくように配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	『薬の紹介』を個人台帳に綴り確認できるようにしており、新たな処方時は申し送りノートや口頭での伝達も行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴や希望を基に、ケアプランをはじめ、日々の生活や行事に取り入れている。 *家事や嗜好品など。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	苑外の外出は多くないが、広い苑庭での散歩や運動をできるだけするようにしている。 利用者様の意向により、食材や野菜・花の苗の買い物など職員とともに行かれることもある。	日常的には、苑庭の散歩やグラウンドゴルフを楽しんだり、農園の草取りをする利用者もいる。ホームの行事で弁当持参で花見等に出かけたり、利用者の希望でドライブや外食・墓参り等の個別対応を行う「想いの日」を設けている。家族と外食や外泊をする利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員で管理しており、利用者様が支払いをする機会は確保できていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人様や家族の希望時は、いつでもできるようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用生活スペースからは、外が眺められるようになっており、開放感がある空間となっている。利用者様がひなたぼっこや風にあたりたりされている。</p>	<p>ホールは高い天井で大きな窓からは広大な芝生が眺められ開放感があり、ホテルのロビーのようである。トップライトで採光は十分である。加湿器の使用等で適度な環境に整えられている。自由にテラスに出て季節を感じたり、掘ごたつやソファでくつろぐ等、自由な時間を過ごせるよう工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用スペースも、食事の場所・テレビの前のソファ、掘りごたつ式の畳などそれぞれが好みにより過ごせるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>備え付けのベッド以外は自宅より持参して頂き、また写真や遺影の持参など個人の空間となるようにしている。</p>	<p>居室は全室広い洋間で、電動ベッドが備え付けである。感染予防や羞恥心に配慮してトイレが設置されている。加湿器も必要時に貸し出している。利用者の使い慣れたタンスや机・ソファ・飾り物・写真・寝具等、自分の好みや馴染みのものを持ち込んで居心地良く暮らしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>キッチンも対面式でできるだけ参加できるようにしており、手すりの設置やバリアフリーにするなど活動の制限がないようにしている。</p>			

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない